

平成24年度 諏訪清陵高等学校評価表～教育目標・取組み・評価～

教育目標	取組み	評価の観点	(参考数値)
生徒の学力向上 (重点目標)	①生徒の家庭学習時間の増加 ②教員の指導力向上と授業改善 ③教科における課題の明確化と解決に向けた計画的な取組み ④SSH、生徒による授業評価、自反会(土曜講座)、授業シラバスの活用	①生徒の学力が向上したか ②生徒の満足する授業、知的探究心を喚起する授業ができたか ③家庭学習時間の増加が図られたか ④生徒による授業評価に基づく授業改善がなされたか ⑤各教科の課題が解決されたか ⑥自反会の目的に貢献できたか ⑦シラバスの整備と活用が図られたか	・生徒学習状況調査 ・試験成績(模試、センター試験) ・生徒による授業評価
主体的な進路選択と進路実現の支援	①合同HR、講演会等による進路意識の向上と進路研究への支援 ②実力テストや校外模試の分析と事後指導 ③生徒・保護者、職員への進路情報の共有化 ④指導の継続及び改善のための進路係と各学年間の連携	①生徒の進路意識を向上させ主体的な進路選択ができるような取組みができたか ②生徒の自己目標実現のための指導に十分取組めたか ③実力テストや校外模試が有効に活用されたか ④進路情報が生徒・保護者、職員に適切に伝えられたか ⑤進路係、各学年間の連携が十分に図られたか	・大学合格状況 ・実力テスト及び模試の検討回数
SSHを活用した教育活動の充実	①理数を中心に、高度な科学的思考力を育み学力を高めるための指導方法等の開発 ②理数に重点を置いた教育課程の導入(2,3年) ③大学、企業との連携 ④「清陵サイエンスフォーラム21」の開催 ⑤科学系クラブ活動の振興 ⑥国際性を育む	①理数英を中心に各教科で指導内容・方法の研究開発に取り組み、校内で組織的に研究が推進されたか ②生徒の自然科学に対する興味・関心を高め、学習意欲が向上する取組みであったか ③生徒の満足度を高める取組みであったか ④連携を効果的に行えたか	・SSH意識調査 ・各事業終了後の生徒充実度調査
中高一貫教育に向けた学校全体の取組み	①6年間の教育課程(具体像)の策定 ②施設設備に関わる具体案の計画・推進 ③全体構想の周知 ④パンフレットの作成	①中学と高校を有機的に結びつける教育内容になっているか ②教育力向上に資する内容になっているか ③地域説明会等を通して、本校の目指す中高一貫教育を十分に伝えられたか ④目指す生徒像がわかるパンフレットが作成できたか	
自主・自立性に基づく”清陵生としての自覚”を高める指導	①学友会の諸機関と協議して、生徒に自ら考えさせる指導 ②学校生活におけるモラルの向上	①学校生活の様々な場面において適切な指導ができたか ②学友会へ効果的な指導助言ができたか ③生徒の自主・自立性を尊重した指導ができたか	
学友会の自主的 活動支援とクラブ 活動の活性化	①顧問の適切な指導 ②活動の保障	①学友会活動を自主的に推進するための指導ができたか ②クラブ活動の時間、場所を保障し適切な指導ができたか	・クラブ加入者数
広報活動の充実	①HPの充実と校内運営体制の整備、広報誌「清水ヶ丘便り」の充実、学校案内ビデオ・パンフレット作成、中学校訪問 ②授業公開日の適切な設定	①HP、「清水ヶ丘便り」等は充実していたか ②本校の教育活動を保護者、中学校、地域住民等に十分に伝えられたか	・HP更新回数 ・広報誌発行回数 ・授業公開来校者数